

解決条件トシテ
(1) 航路手当半減ハ十日以内降下云云
(2) 郵船手当ハ震災ノ甚ク属員救済ノ多ク此際付ト
考慮ヲ拂フコト

第三案(解決条件)

四十日一日ノ既年四月三十日迄半減即チ五割ヲ積立テ
震災救済費トシテ甲種郵船即チ負担ノ極限ト
協議上ノ可厨即チ負担ノ極限ト直接ニ各負担之
欠ト

乙午若シテ外ノ属員待遇ニ就テハ各社ノ於チ調査

一止務属云々ト

即チ其ノ一案ニ依リ双方諒解ノ上日協理ニ解決見
多ク

終リ之由川支店長ハ橋本組令長ニ於テ悔業此ノ種
四所其ノ絶對ニ防止スルコトヲ希望セリ之ニ於テ橋本ハ
老口梅屋ハ此ノ方ニ回テ卷身ノ出テ人又ハ之ノ交會
今回折ノ免出由ニ就テ回款セリト云々各事概ハ
回自ラ瞭カキコノアラシ

各社ハ此ノ不況時ニ於テ先尚一割二分ヲ配當セトシ
其ノ余彼ノ下級梅屋ニ及ビ此ノ争議ヲ見免セトシテ
厚礼ノ経費共與テ利益配當セテ各社ノ於チ知ル後下